

研究課題名	経口内視鏡的筋層切開術（POEM）術中の腹腔穿刺を要する気腹の危険因子
研究の意義・目的	食道運動異常症（食道アカラシア、遠位食道痙攣、Jackhammer 食道、食道胃接合部流出障害）に対する POEM は、高い奏効率を有する低侵襲な内視鏡治療であり、本邦では 2016 年の保険収載後に、第一選択の治療法となってきています。POEM の術中偶発症のひとつに気腹症があります。気腹により腹腔内圧が過度に上昇すると、門脈系や下大静脈が圧排され、右心房への静脈還流が減少し、循環動態に影響を与えるため（コンパートメント症候群）、腹腔穿刺による脱気が必要になることがあります。適切なタイミングで腹腔穿刺をすることで、安全に POEM を継続・完遂することができます。しかしながら、POEM 術中の腹腔穿刺を要する気腹についての報告は少ないため、POEM 術中の腹腔穿刺を要する危険因子について明らかにすることを目的としました。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ～ 2028 年 3 月
研究協力を お願いしたい方 （対象者）	2018 年 1 月～2023 年 11 月に大阪公立大学医学部附属病院の消化器内科で、食道運動異常症に対して POEM 受けた方が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：年齢、性別、身重、体重、BMI、ASA-PS、既往歴、抗血栓薬、飲酒歴、喫煙歴、診断名、拡張型、拡張度、Eckardt score、IRP、手術記録：術者、治療時間、筋層切開軸、食道・胃筋層切開長、治療偶発症、腹腔穿刺を要する気腹症
試料・情報の 提供を行う機関の名 称及びその長の氏名 （提供元について）	この研究は大阪公立大学医学部附属病院消化器内科のみで行い、他の機関に情報は提供いたしません。
提供する試料・ 情報の取得の方法	診療の過程で得られた診療情報
提供する試料・ 情報を用いる研究に 係る研究責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 消化器内科学 研究責任者 大南雅揮
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科消化器内科学のみで行います。
本研究の	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その

利益相反	指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 消化器内科学 (担当者氏名) 大南雅揮 電話番号：(06) 6645-3811 メールアドレス：ominami@omu.ac.jp